

《前橋女子高等学校 イギリス研修 Day5 (3月12日) 報告書》

願い届かず、今朝はすっかり雨模様。それでも降りしきる雨の中、誰ひとり授業に遅刻することなく登校しました。毎日生徒たちはその日の出来事、感じたことなど日記に書いているのですが、語学学校での初日を終えたその後の内容は、悲喜交々でした。フリートークが続かない、クラスの中で構えてしまったり発言に躊躇してしまう、自分から声を上げることができないなど、他国の学生の発言力に驚く様子や、クラスメートになった前女生からも刺激を受けている様子も記されていました。一方でファミリーとの関係は日毎に深まってきているようです。手取り足取り何でもやってもらえる環境ではないですが、今日はこんなことができた、こんな話をしたなど、家でのエピソードや光景が目には浮かびます。中には明日への決意を日記帳に刻む生徒も。

昨日授業が終わった時点で、上のクラスに行きたいとディレクターの Tim に自ら交渉に行った生徒がいました。Tim からは、まだ初日だからもう少し様子を見てごらん、とアドバイスされたそうですが、今朝の初めのセッション後に改めて意向を伝えにいき、セッション 2 から上のクラスに参加できることになりました。また、昨日のキャンパスツアーの後、あっさり学生さんたちに別れを告げる様子を目にしましたので、せっかくのチャンスを簡単に手放してしまってよいの？と投げかけたところ、走って追いかけて見つけ出し、連絡先を交換した生徒もいました。環境を受け入れ、その場で全力を尽くすも、自ら環境を変えようと行動を起こすも、どちらも正解だと思います。その時の自分の判断に自信と責任を持って、こちらでの時間を大切に過ごして欲しいと思います。

ここに来た意味を感じている生徒が多いようで、朝の授業前の時間、そして休憩中も、まるでハンターさながら獲物…話し相手を探している姿が多数。一方でなかなか殻を破れない生徒たちももちろんいます。様々な葛藤との戦いだなど見ている感じがしますが、誰かとの比較ではなく、自分にとっての一步を踏み出して欲しいと切に感じ、できる限り背中を押していきたいと思います。

午後は、Cambridge Treasure Hunt です。何と！雨が止みました！朝の天気予報では絶望的に終日雨模様でしたが、狙ったかのように外に出るとピタリと止んでいたのです。そして、雲の切れ間からは、うっすら日が差し込んでいました。錯覚かもしれませんが、久々に太陽が見えた、ような気がしました。いずれにしても各段に動きやすくなり、8チームの対抗戦として、与えられたミッションを達成すべく街へと出かけていきました。

ルールは至ってシンプルです。8つの名所を探してセルフィーを撮ってくる。またその他にもボーナスポイントとして「警察官と写真を撮る」「大学関係者と写真を撮る」「犬と写真を撮る」「LUSHの店員さんと写真を撮る」など、自分たちだけでは完結できないミッションも含まれます。制限時間は1時間、撮った写真をWhatsapp (LINEのようなアプリ) を使って、語学学校に送るだけ。時間内により多くのミッションをこなしたチームが優勝となります。街中までは徒歩約20分。昨日のキャンパスツアーでの記憶が鍵となりますが、ある程度目的地を決めてから動き出すチーム、とりあえず勢いと体力で稼ぐチームなどそれぞれの個性が出ていました。たった2日間で、ここまで土地勘が付くものなのかと感心したのも事実です。知恵とチームワークに度胸と、テクノロジーの力もちょこっと拝借し、それぞれのチームが多くのミッションをこなして戻ってきました。時間内に戻れたチームは1チームのみでしたが、、汗だくで戻ってきた姿に免じてそこは目をつぶりたいと思います。フレンドリーでジェントルな現地の方とのコミュニケーションを楽しんだようで、こういった経験を明日への活力に変えてほしいと思います。

今後の予定を確認しつつ、研修も折り返しに差し掛かっていることを意識してもらいました。とてつもなく長く感じる1日も、気付けばあっという間に積み重なり、必ず終わりを迎えます。その時に、やらなかった後悔だけは残さないよう、1分1秒使いきってほしいと願います。

明日の午後は、小洒落たホテルでのアフタヌーンティ体験です。ランチのポテトはほどほどに、イギリスの文化にどっぷりつかりましょう。



～休み時間のコマ～



～Treasure Hunt～

犬やガードマンやダーウィンもハント